

ひまわり

議会だより

No.59

2024.10.15

発行編集:日之影町議会報編集委員会



愛情込めて
50年

注目議案・P2
総括質疑・P4~P5
一般質問・P8~P9

第3回定例会 注目議案

全て原案可決

議案番号	件名	概要
報告 第5号～第7号	専決処分事項の承認について（工事請負変更契約の締結について） （専決第13号・専決第14号・専決第15号）	令和5年度4年災 中崎大吐線 道路災害復旧工事について 専決処分したもの 第13号：舗装面積の増加に伴い、請負金額が増額 第14号：大型ブロックの施工に必要な仮設足場の追加により、請負金額が増額 第15号：仮設用モルタル吹付工の追加により、請負金額が増額
報告 第10号	監査請求に関する報告について	議会による監査請求に対して、日之影町交際費に関する事項について調査した監査結果を報告
同意 第3号・第4号	教育委員会委員の任命について	平野竜寛氏（再任）・甲斐泰世氏（新任）に任命 任期：令和6年10月1日～令和10年9月30日
承認 第10号	専決処分事項の承認について（専決第12号） （令和6年度日之影町一般会計補正予算（第2号））	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金で、住民税非課税等となる世帯への給付に係るもので、歳入歳出それぞれ900万円を追加し、歳入歳出の総額を58億1,885万円とする
議案 第41号	日之影町国民健康保険条例の一部を改正する条例	国民健康保険の被保険者証が廃止されるため、被保険者証の返還に応じない者に対する過料の規程を一部改正する
議案 第42号	日之影町使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例	コミュニティバスの使用料について高校生以下を無料とし、予約型乗合交通の使用料について中学生以下を無料として据え置く
議案 第43号	日之影町過疎地域持続的発展計画の変更について	事業名「デジタル技術活用」を追加し、それに伴う日之影町過疎地域持続的発展計画書の本文の変更及び、同事業の事業費を追加する
議案 第44号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	大瀬辺地：町道糸平横迫線改良舗装事業追加 小原辺地：林道二子山西線舗装事業追加 見立・鹿川辺地：町道下組岩戸線改良舗装事業追加 大菅辺地：町道平清水下線改良舗装事業追加 町道小菅上鹿川線改良舗装事業追加 林道大菅線開設事業の事業費を増額 長谷川辺地：町道影待岩戸線1工区改良舗装事業の事業費を増額
認定 第1号	令和5年度日之影町一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入において前年度より13.4%増、歳出において前年度より11.9%増の62億7,847万円 実質収支額を5,743万円とし、そのうち2,900万円を財政調整基金へ積立
議案 第45号	令和6年度日之影町一般会計補正予算（第3号）	過年発生災害復旧事業、物価高騰対応重点支援事業等に係る補正が主なもので、歳入・歳出それぞれに2億3,974万円追加し、歳入・歳出総額を60億5,860万円とする

補正予算

文化財保存管理委託業務 61万円

深角橋の除草にかかる予算

Q 委託先と業務内容は

A 深角橋の除草で委託先は町内事業者を予定。「所管事務調査で地域住民での整備は厳しいとの声があったことから要望した。ぜひ文化財保存に向けた事業を推進すべき」



◀ 本来の姿

成長に優れたコンテナ苗供給体制整備事業補助金 135万円

苗生産者に対する助成金

Q いくつの事業体で何本生産するのか

A 個人3名で4万3千本生産を行う。「コンテナ苗を安定的に生産するため生産資材や穂木確保に要する費用を助成。県と町が生産者を補助（町の財源は森林環境譲与税）」



◀ コンテナ苗

観光費修繕料 175万円

TR列車の宿を4棟外壁補修する予算

Q 修繕料の内容は

A 列車の宿の劣化による錆や剥がれを塗装により全面的に補修を行う。



◀ 改修対象車両

小水力発電事業修繕料 230万円

下小原発電所の水車の故障に伴う修繕料

Q 日々の点検はどうだったか

A 集落の方と協定を結んで点検等で異常があれば役場のほうに連絡を頂くとしている。



◀ 発電設備

丹助岳町有林整備事業 171万円

計画の変更による補正

Q 管理という観点から何うが、当初発生した材木はどう処理されたか、また、伐採後に長期間置いてあったと見受けられたが

A 販売して5年度決算の一般会計の歳入に挙げている。早期に良い品質で出荷することが良いと思っている。今後はそのようなことが無いよう対応する。



◀ 丹助広場から

自然災害防止事業費 705万円

法改正による看板の入れ替え

Q 看板の設置個所は何か所でどのような作業が行われるのか

A 町内設置個所は9か所。法改正によって土砂災害危険区域から土砂災害警戒区域等という表示看板に変更する。



◀ 既存の看板

決算審査特別委員会

委員長報告書

委員長 小川輝久

本委員会に付託されました、認定第1号「令和5年度日之影町一般会計歳入歳出決算の認定について」から、認定第8号「令和5年度日之影町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」までの8議案は、決算審査特別委員会を9月13日と18日の2日間の日程で開催し、所管課ごとの審査を実施した。

令和5年度の施策執行と財政運営については、「第5次日之影町長期総合計画」及び「第2期日之影町地域創生総合戦略」などの相互連携を図りながら光さす日之影の実現に向けた重点施策のもと事業実績には一定の評価をするものである。

財政運営については、一般会計・特別会計共に財政健全化の基準を満たし、厳しい財政状況下においても、地方債現在高の圧縮と基金の積立は共に評価しうるものである。

他方、令和4年発生の災害復旧にお

総括質疑

総務文教常任委員会

決算を踏まえた総括

財政の健全化と事業の投資効果を含めた行財政運営の実績と評価

歳入においての決算額は、前年度より13.4%増の67億円で、新型コロナウイルス関連の事業費等は減少したが、令和4年の台風14号、5年の6号等による災害復旧工事と物価高騰対策関連事業が増加した要因である。また、普通交付税の再算定があり財源の確保が出来、財政運営の中で減債基金約1千万円、公共施設等整備基金を9千3百万円、一般会計全体で2億3千万円積み立てることが出来た。

投資的経費補助事業では、災害復旧事業関係を優先するという計画で、災害復旧事業関係は前年度より39.2%増加した。

施策執行については、第5次日之影町長期総合計画を大きな柱として、それぞれ国・県の補助事業採択に向けて、投資効果等を考えながら実施し、予定していた事業はほぼ計画通り実行することができた。

持続可能な町づくりに取り組んで来られたが、町長の思い描く町に近づいたか

コロナ禍におきましては、地域の祭りやイベントなど行事が中止または縮小され、地域の魅

総括質疑

経済建設常任委員会

令和5年度の施策で様々な振興策を展開したが、振り返っての評価と課題点は

農業の振興については

新規就農された方について生産、経済力向上の研修を行った。またアグリファームでは9月から新規職員一名を採用し、ワーキングホリデーでも一名の実績があった。担い手協議会においても地域での受託作業システムの受け皿づくりを進めてきた。各農家についても意見交換を進めながら支援を行ってきた所である。これらを踏まえ、たうでややはり担い手の確保、農地をどう守り繋げていくのか考えていく時期が来ている。

林業の振興については

今後の再造林などが課題としてある。県としても補助率を9割まで上げるが果たしてそれで解決するのかという所である。素材生産業者の中でも伐って造林まで行う事業者もあり、日之影町には森林組合作業班もいる。森林施業従事者の福利厚生、森林経営管理制度など様々な



いては、激甚災害の指定を受け町内土木事業者等の懸命なる事業協力を受け復旧に努めており、ここに来て工事完了の目途が見えてきたところである。一方で物価高騰、子牛価格の低迷等、第一次産業をとりまく状況は依然厳しいものがある。

今後も山積する課題にアンテナを高く常に情報収集に努め、町民の付託に応えることを基本とし、行政と議会とが連携し町民が安心・安全に暮らしていける町づくりを目指すことが肝要である。

以上、令和5年度決算審査特別委員会で審査しました、認定第1号「令和5年度日之影町一般会計歳入歳出決算の認定について」から、認定第8号「令和5年度日之影町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」までの8議案は、本会議で可決すべきものと決定した。



力・活力が失われていく中で、集落の課題は人口減少が続く本町にとっても重要な課題と認識していた。

人と人との繋がりが、あるいは支え合うためにも集落内、町全体で町民の顔が見られ、意思疎通が出来ることが大事と改めて感じている。そのような中で、公民館活動や各種イベントを実施し、町民が集うことが必要と考え力を入れてきた。

人口減少や高齢化などの課題はあるが、地域を守って行くという町を思い描いてきたつもりである。思い描く町には、道半ばであると感じており、今後もそのような町に近づくべく努力していきたい。

学校を核とした地域活動の活性化は

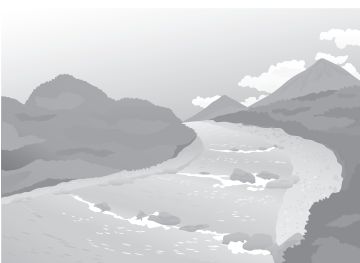
学校単独で、学校を運営することは不可能で、地域の皆さんや保護者の協力なくしては学校は成り立たないと思っている。現在は、コミュニティスクールと地域学校協働活動の2つの大きな両輪があり、学校は成り立っている。地域活動の具体的内容は、登下校の見守り、読み聞かせ、農業体験、福祉学習の体験及び施設訪問、職場体験、伝統文化の継承、祖父母交流会、近未来会議など、町民の皆さんの支援や協力のもと、その活動自体が地域の活性化に繋がっていくという思いで活動に取り組んでいる。

要因を、本町へ交付される大きな財源「森林環境譲与税」を有効に活用しながら振興に努めていく。

観光の振興については

自然を生かし守りながらの観光が最善だと思っている。森林セラピー、ユネスコエコパーク、ボルダリング、中川のチューリップ、竹細工、わら細工、神楽、歌舞伎、伝統芸能等。また、観光協会作成のパンフレットにより改めて橋が沢山あることを実感し、観光資源としてどうかすのか協議することも課題の一つである。

情報発信については毎日観光協会から発信することで認知度も高まってきたように思う。役場ホームページのリニューアルと合わせながら今後取り組んでいく。他にも県外では栗祭り、ほろぎ市、観光物産フェアや中央地区活性化の一助になるべく「日之影ライド」を初めて開催した。大きな課題としてはそれらをどうやって継続していくかということと、高千穂という観光地に来られる方に隣の日之影町も面白いよというイメージをどうやって作っていくかという事である。今後もご意見を参考にしながら進めていきたい。



補正予算の質疑 「畜産の正念場!!」

Q

今回補正のメインになる予算と考えているので畜産農家緊急支援事業1164万円について事前に説明は受けたが再度伺う

和牛繁殖農家については子牛価格の下落、飼料高騰により大変厳しい状況である。本町の農業生産額の5割を占め、飼料作付けによる水田の適正管理や、除草による景観の維持保全、耕作放棄地の未然防止などにも大きく寄与されている事からも緊急的な経営支援が必要だと考えている。

A

Q

依然として厳しい状況が続いているが昨年に比べて母牛頭数がどのくらい減ったか把握されているか

令和5年の1月末で759頭から今年の3月末現在で668頭と把握している。今の状況、危機感を持って対応しないとイケない。枝肉の在庫、中国向けの輸出の減、消費傾向の変化等を受けて国は努力をされていると思うが、地方にはまだ届いてきていないと思う。自分で育てた牛が高く売れる、そうなったらやりがいがあって頑張れるが、現状そうではない事は把握している。今の難局を乗り切って頂くための予算であるので今回提案させていただいた。

A

Q

今回の支援予算に対して、畜産農家以外の支援をどう考えているか

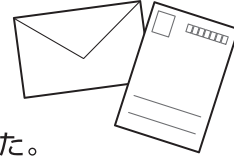
昨年度はコロナ対策や価格下落などに対して各種品目を手掛けておられる農家の方々に経費を算出して、それぞれ支援を行って来たつもりである。やはりこの厳しい中で議会も含めて支援策を考え、先ずは畜産からという所で行う事にした。他の農家の方々も畜産の現状はご理解いただいていると思う。また、農林振興課を通じて注視しているので畜産以外に対しても今後の経過を見据えながら、状況が厳しいようであれば支援を行う。

A

【主な支援】 ●生産支援1064万 ●母牛頭数1頭当たり飼料高騰分を1万6千円助成
●牛肉消費拡大支援100万円 ●渓谷祭りにおいて高千穂牛1頭分を4割引にて販売



おたよりコーナー



いつもたくさんのご意見ありがとうございます。
今回は寄せられたお便りの中から取り上げてみました。

Q 上京は議長、副議長だけで良いのでは

A 東京要望に関するご指摘ですが、財政的な観点からのご意見有難うございます。参考にさせていただいてお答えいたします。我々日之影町議会全員で省庁へ向かいますのは、本町及び中山間地域全体の問題や皆様の意見をより多く正確に各省の担当職員へお届けするためであり、誰一人欠かせないものだと考えております。様々な議員が得意、不得意な分野を補いながら、省庁内では得がたい地域の実情を話し合った結果が反映し、農林業を始めとして規則や法が町議会の発信により変わった事例もあります。ただその都度広報が不足していた事や、伝わっていなかった事は反省すべき点であります。このことは議会の活動に対しても同じことが言えます。ご指摘のあった点を生かし、今後はより一層伝わりやすい広報を目指し励んでまいりますのでご期待ください。

郵便はがき

8 8 2 0 4 0 1

恐れ入りますが、
85円分の切手をお貼りいただくか
議会事務局まで
ご提出ください。

日之影町大字七折9079

日之影町議会事務局 行

氏名（掲載しません）

ペンネームなど



更により良い議会だより
町づくりのため
皆様の声をお聞かせください!

例えば…

「こんな企画、特集があったらいいな」
「ここを変えたらもっと読みやすくなる」
「議会のここが分からない」
「そもそも議員の仕事が分からない」
等とにかくテーマは何でも構いません。
匿名でも実名でもペンネームでもOKです。

提出はハガキ、ご意見箱、メール (gikai@town.hinokage.lg.jp) でお受けいたします。
なお、いただいたご意見は、個人情報保護の上
議会でのみ使用します。

一 般 質 問

西臼杵広域消防におけるハラスメントへの対応は

町長 思いを繋げ三町一丸となって再生したい



久保 優一 議員

問 パワーハラスメントについて報告、相談、連絡などを受けたのはいつか

町長 7月1日に受けたところである。

問 議会に対しての報告、相談は何故行われなかったのか

町長 7月27日に開かれた広域事務組合の全員協議会が本町議会への報告に変わるものと認識している。

問 パワーハラスメントの検証においては客観性が重要である。一方的な責任追及ではなく議会も対応について適切にできていたかどうか顧みる必要があると思うが、3月の広域議会定例会の中でパワーハラスメントについて管理者が触れられているが、その時点で対応は出来なかったのか

町長 この時、取り上げられた事案については管理者答弁の通り適切に処理をされていたと思っている。ハラスメント事案の認識については早期に全体で共有すべきであったという事に相違はなく、現在、百条委員会の設置があり調査が進められている。肝心なのはその結果報告を受けて設立から今日までに至る消防の思い、働く職員たちの思いを繋げどのように再生し、西臼杵の救急消防を担っていきける組織を三町一丸となって作り上げていく事が重要だと認識している。

問 本庁におけるハラスメント対策はどうか

町長 令和5年3月に職場におけるハラスメントの防止に関する要綱を施行し、各種ハラスメントの防止、排除に努めている。

問 カスタマーハラスメントについての対策はどうか

町長 現在、要綱を作成していないが総務課に指示をし早急に制定し防止、啓発に努めていきたいと思っている。

議 会 活 動

(7月16日～10月15日)

7月18日	議会運営委員会正副委員長研修会(宮崎市)
19日	高速自動車道建設促進宮崎県期成同盟会総会(宮崎市)
23日	第15回市町村対抗駅伝競走大会に伴う日之影町実行委員会県道宇納間・日之影線整備促進期成同盟会総会(美郷町)
24日	日之影町消防操法大会
27日	正副議長研修会及び地方行政問題協議会
29日	九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会総会・決起大会(山都町)
30日	高千穂高校剣道部表敬訪問
31日	新日之影いきいきクラブ意見交換会 まちづくり講演会意見交換会
8月1日	九州中央自動車道整備促進西臼杵議会特別委員会要請活動(福岡市)

◇あなたの年齢は？(○をつけてください)
10代・20代～30代・40代～50代・60代以上

◇「議会だより」に対するご意見ご感想

.....

.....

.....

.....

.....

◇ 町や議会に対するご意見

.....

.....

.....

.....

.....

ありがとうございました

台風14号災害復旧の現状と見通しは

町長 1日も早い復旧を目指す



高 館 英 嗣
議 員

問 工事を発注するにあたって町長が考える優先順位の定義は

町長 明確な定義は無いと考えるが、一番は集落間を繋ぐ導線など人が行き来するところを優先的に発注をしてきている。

問 耕地災害も経済的観点から考えると生産性という意味合いで生産効率が悪くなるので、優先順位についても改めて見直す必要もあるのではないか

町長 災害は通常原則3年以内で復旧を完了させる流れとなっている。出水期であれば水の通っていない時に工事を進め、米が植えてあれば稲刈りが終わった後など農家の方々とも協議しながら進めており、仮に本年度内に終わらなかつた時は国の制度上でも翌年度に繰り越せるようになっているので、繰り越して復旧に努めているところである。

問 条例にも明記されているが災害復旧を早急に進めるためにも町外業者にも発注をする考えは無かったか

町長 地元の業者に災害復旧を頑張ってもらってやってくれるかを確認したところ、頑張っていくという返事をいただいたので町内業者指名で発注している。現在、不調不落無く頑張っていたら復旧が進んでいる。



中川の復旧現場



11日	10日	4日	10月2日	30日	29日	19日	18日	13日	10日	9日	8日	6日	4日	9月2日	27日	24日	23日	22日	21日	20日	16日	7日	6日	5日	3日	
視察研修(宮崎市・西都市)	宮崎県町村議会議長会臨時総会・第64回議員大会(国富町)	ひのかけ近未来会議	森林基幹道高千穂・日之影線「乙女大橋」完成式典	教育委員会委員辞令交付式、出産祝い金贈呈式	町内小学校運動会	第3回定例会(閉会)	議会運営委員会・全員協議会	決算審査特別委員会	第3回定例会(総括質疑)	知事との本音トーク(本町)	見立公民館との意見交換会	辺地計画現地調査(町内3箇所)	議会運営委員会・全員協議会	第3回定例会(開会)	議会運営委員会・全員協議会	ひのかけ渓谷まつり2024実行委員会	宮崎県消防操法大会(宮崎市)	議会運営委員会・全員協議会	経済建設常任委員会所管事務調査	熊本・阿蘇幹線道路整備促進期成会通常総会	九州中央自動車道建設促進地方大会	第15回「夏まつり日之影2024」	中央地区第2回協議会	国民スポーツ大会日之影町準備委員会	出産祝い金贈呈式	宮崎県消防協会西臼杵支部消防操法大会



旧綱ノ瀬橋梁(国指定文化財)

昭和12年に完成した鉄道橋。コンクリート橋として当時最先端の工法が採用され、日本にとって先進技術を示す重要な橋梁である。
延岡との共有であるため現況では年1回の草刈り程度である。



第三五ヶ瀬川橋梁(国指定文化財)

昭和14年頃完成した鉄道橋。日本の土木技術を支えた橋として国・県の指定を受けた。
国の事業を活用し一部修繕の計画があるが、全体予算が3億円と考えられるため検討中。



深角石橋(本町指定文化財)

天保11年南関石工等の手により架けられた。(橋供養碑より)現存の橋は明治18年に架け替えられ延岡市と熊本を結ぶ大きな役割を果たした。
草木が生い茂り石橋の全体が見えづらいので町指定の文化財として早急な対応が必要。

総括意見

いずれの文化財についても、本町の貴重な財産である。後生に残し観光産業に繋げる為には、環境整備が必要である。



谷川峰喜氏圃場

路地苗を約5ヘクタールで2万6千本生産されており、採穂林を2カ所保有されている。出荷額はコンテナ苗よりおよそ半額となるが、管理方法からすると収益性は高いと言える。



甲斐浩一氏圃場

県の「令和5年度成長に優れたコンテナ苗供給体制事業」を活用し生産資材・穂木確保等の経費の支援を受け試行錯誤しながら生産に取り組まれている。
培土の購入が県南と遠方であるため入手に難がある。



抜屋林業(有)圃場

コンテナ苗2万4千本(Mスターコンテナ使用。内販売本数7千本)と精力的に取り組まれ、今後は販売本数2万本を目標にされている。
休耕田の利用において灌水施設や販売先である関係各所との連携が課題である。

総括意見

「山の力」を取り戻し「脱炭素社会の宣言」を実行するには再造林推進に向けて森林環境譲与税の充當拡充や新たな支援策が必要である。また、コンテナ苗生産において共通の課題は灌水と培土の購入であったことから、今後は灌水施設への支援、培土を近隣で購入できる体制が必要である。

『新日之影いきいきクラブとの意見交換会』

新日之影公民館
7月30日(火)

高齢者クラブとの意見交換会を行いました。暑い中20名ほどの方々に参加いただき、中央地区の課題について意見をいただきました。

主に空き家対策、役場跡地の内水対策について意見交換をいたしました。

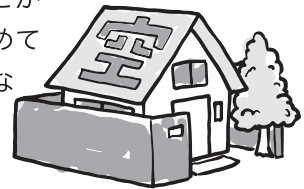
空き家対策については、活用につなげていただくために現在本町で取り組んでいる補助事業の説明をしました。空き家活用については地域おこし協力隊に活用してもらえないのかという意見もあり今後の事業構築に繋がるのではないかと感じました。

役場跡地の内水対策については中央研修館の改修も進んでおり、人々が集まりやすい場所ともなるので今後の対応を早急に検討する必要があると思いました。

人口減少が進み今後の集落機能の維持などに



ついて何処の集落でも不安を抱えるところがあると感じられましたので、更に議会としてもアイデアを出し合い提言提案を適切に行い本町の発展に寄与していくことが重要になってくると改めて感じましたので、様々な御意見をお待ちしております。



『見立公民館との意見交換会』

見立せせらぎの里
9月8日(日)

今回は、せせらぎの里にて「見立の今」というテーマで意見交換会をさせていただきました。

地区の皆様から寄せられた意見は「道」と「水」に関することが多く、サロンやグランドゴルフ、インターネット等多岐にわたり我々も多くの事柄を知ることが出来ました。住み慣れた地域で地区の方々が協力し合い生活環境を維持していくという考えは、本町の目指す方針と一致しており大いに参考にすべき点であります。

また、議員の地区への来訪が少ないとのこと意見もありました。これは他の地区からも寄せられる意見なので議会として対応していきます。



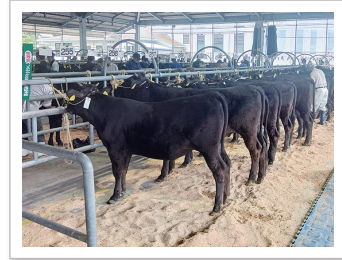
今回の意見交換会の中で特に道については県道、迂回路、交通規制、登山道など多岐にわたりそれぞれの課題について、議員それぞれが持つ知見も併せて解決に向けての話し合いが出来たと実感しました。

県道整備については、県への働きかけの際、地区より重点整備個所の情報提供や期成会への参加出席を提案。今後は意見を元にさらに強く働きかけ早期整備促進を共に行ってまいります。



表紙者インタビュー

菊池 健生 氏 (平清水)



日之影町から県共振会に出場されるとの事でお伺いいたしました。

全国共振会の予選には過去出場したことがありますが県の共振会は50年やってきて初めてです。

どんな苦勞がありますか。

今回出場するのは3類で、3頭で1つのチームです。父親が同じ牛で姿かたちも揃えないといけない。

牛が同じ姿かたちですか。生き物なので合わせるのはなかなか難しいのではないですか。

そうです。生まれた月が違うので栄養価の高い餌を多くやったりして、2頭と揃えないといけません。

先日拝見しましたが牛を洗うのも大変ですね。

役場職員や農協職員の方に手伝ってもらっていて助かります。

お伺いした限りでは、出場するには相当な労力がかかると感じましたが。

選ばれた以上は一生懸命やります。

お答えいただきありがとうございます。今回の定例会では牛に関する補助が上がっています。まずは飼料高騰分の助成について伺います。

今、高齢化と飼料高騰、子牛の値下がり繁殖牛農家は厳しい時です。子牛の販売価格については先行きを読むというのは難しいところだと思いますが、今回の助成は「今は苦しい時期だがもうひと時頑張ってくれ」という気持ちを感じます。

和牛の消費拡大についてはどうですか。

地元の美味しい牛を手軽に購入する機会が出来て良いことだと思います。



編集後記

秋冷の候、皆様方におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、9月議会も18日間の日程を終えて、最優先の災害復旧事業・物価高騰・農畜産等交付金、日々の暮らしに直結する課題等を審議し議論を重ねました。皆様の声が反映出来る様に引き続き議会は一致協力して頑張るつもりです。

9月には見立公民館との意見交換会を開催し、実情を共有する事も出来ました。今後も地域や公民館等との意見交換会を開催したいと思っておりますのでご協力の程重ねてお願い致します。

本紙が届く時節には、黄金色に輝く棚田や真紅の彼岸花等の息を呑む景観が目に見え、秋の来ます。皆様方の秋が爽やかなものと成りますように心よりお祈り申し上げます。

甲斐 徳仁

発行責任者

議長 高館 英嗣

議会報編集委員

委員長 久保 優一

副委員長 一水 輝明

委員 甲斐 徳仁

委員 高館 英嗣